

## 第4回 土壁再生シリーズ公開研究会

1300年の歴史を持つ土壁のさまざまな優れた特性に対する正しい知識と最新の研究成果を学び、京都を代表する土壁文化を住まい・まちづくりに活かして次世代につなげていくための各種課題の解決策を協働で研究し、成果を社会に還元するシリーズ公開研究会の第4回を開催いたします。

同活動は、市民、建築設計者、施工者、左官技能者、研究者、行政等のさまざまな分野のメンバーによる協働研究体制で取り組む予定です。お気軽にご参加下さい。

### 第4回「土壁の家に暮らす - 手入れと地震後の補修・補強方法 -」

#### 1. 「土壁の住まいに住み続けるために」

土壁の魅力は、塗り重ねたり、壁土を落として水で練り直して塗り直すことができることで、適切な設計・施工と定期的な手入れによって、性能が半永久的に持続し、耐力も低下しにくい長寿命の住まいを造ることができる。その要点と主な劣化の見方と補修・補強方法の要点を学ぶ。

#### 2. 「水害に強い土壁の住まいをつくる」

一般に土壁は水に弱いと思われているが、水に強い土壁を造ることもできる。

近年、各地で多発している集中豪雨や台風から土壁の住まいを守るための備えと被害の見方、被災後の補修・補強方法の要点を学ぶ。

#### 3. 「地震で損傷した土壁を再生する」

伝統的な木造建物の要所にバランスよく造られた土壁は地震の揺れを抑え、壊れることによって地震エネルギーのかなりの部分を吸収する。地震で損傷しても、剥落した壁土も使って適切に補修・補強すれば土壁を再生できる場合が多い。被災地の教訓を通して、土壁の被害の主な原因の見方と補修・補強方法の要点を学ぶ。

#### 4. 「土壁修復ネットワークの構築」

各地で近い将来の大地震発生が危惧されているが、知識不足、修復技術者不足等によって、地震を契機に土壁文化、木造伝統文化が一気に消滅する可能性が高い。

そのため、土壁の建物被害を最小限に抑えるための設計・施工、手入れの方法や、被災直後の建物の対処の仕方、具体的な修復手法をとりまとめたガイドラインを作って日頃から啓発し、

地震直後も各地の伝統文化を活かした迅速な復興を支援する「土壁修復ネットワーク」を構築し、地震大国日本で安心して暮らし続けるための修復文化を各地に根づかせる。

講師：奥田 信雄（奥田左官工業所 代表）

佐藤ひろゆき（京壁井筒屋佐藤 代表、京都工芸繊維大学  
伝統みらい教育研究センター特任教授）

#### 5. 意見交換



地震で損傷した土壁の例

会場 西陣ヒコバエノ家 (京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632)  
 参加費 無料、但し、資料代実費 500 円、  
 なお研究会終了後に同会場で懇親会を開催します (参加費 500 円)。  
 定員 50 名 (参加申込み先着順)

参加方法

11/21(水)迄に、お名前、所属、電話・FAX番号、メールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、  
 FAXまたはメール、電話で下記にお申し込み下さい。  
 お申込みと同時に参加受理とさせていただきます (ご連絡は省略させていただきます)。  
 研究会のワーキングメンバーとしてご協力頂ける方は、その旨も併記下さい。

参加申込先・問合せ先

関西木造住文化研究会 (略称 KARTH: カース)  
 TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725  
 E-mail info@karth.sakura.ne.jp http://karth.blog13.fc2.com/  
 京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

主催 京都左官協同組合、関西木造住文化研究会  
 共催 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター  
 協賛 一般社団法人 日本建築学会近畿支部、社団法人 京都府建築士会、  
 一般社団法人 京都府建築士事務所協会  
 後援 京都市、京都府  
 その他 会場には駐車場はありません。



会場の土壁の町家  
 (日本で初めて実験で防火・耐震改修の有効性を検証した町家)

土壁再生シリーズ公開研究会

(午後 1 時半 5 時、開場:午後 1 時、会場:西陣ヒコバエノ家)

- 第 1 回「企画会議 みんなで土壁の再生方法を考えよう」5/6 (日)
- 第 2 回「土壁をさまざまな用途、構造、規模の建物に使えるようにするための防火上の課題と対策」7/29 (日)
- 第 3 回「土壁の優れた耐震性の公的評価を得るために」9/30 (日)
- 第 4 回「土壁の家に暮らす-手入れと地震後の補修・補強方法-」11/25 (日)

第 5 回「土壁の住まいの断熱性を高める」平成 25 年 1/27 (日)

自然材料で作られた土壁は、調湿性、CO2 やホルムアルデヒドの吸収効果、抗菌性、蓄熱性等のさまざまな優れた特性を持ち、再利用・廃棄後は土に還ります。これらの特性を活かして土壁の住まいの建物全体の断熱性を高め、地球環境にも負荷をかけずに健康で快適な生活を送るための要点と土壁の歴史的まちなみを保全・再生するための設計・施工・メンテナンスの要点を学びます。

会場への交通アクセス

(角地、お地藏さんのある家、東隣:月極駐車場)  
 バス停「今出川浄福寺」、または「千本上立売」、  
 「千本今出川」より徒歩 5 分  
 JR 京都駅より(所要時間 約 40 分)  
 地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口を出た後、交差点東側バス停から今出川通の西行きのバスに乗り、「今出川浄福寺」下車  
 市バス利用の場合:A3 の 206 番に乗り、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗り、バス停「千本今出川」下車

会場

